

多自然川づくり取組事例

タ イ ト ル	関東エコロジカル・ネットワーク10年間の取組み				
水 系 / 河 川 名	利根川水系/利根川、江戸川	荒川水系/荒川	河 川 分 類	大河川	
河川の流域面積	-	整備計画流量	- m ³ /s	セグメント	-
事 業	環境整備		事業開始年度	平成25年度	
目 標 設 定	定性的		段 階	C(モニタリング・評価時)	
課題・目的(主な)	貴重種、特定動植物の保全、縦断的連続性の保全・再生・創出				
工 法 (主 な)	掘削(高水敷)				
配慮事項(主な)	委員会、協議会等の開催、人材育成				

背景・課題、目標設定

<背景>

関東地域はコウノトリ・トキのかつての主要な分布域であり、人々の生活・生業との係わりが深く歴史的・文化的な痕跡が数多く残されている。

豊かな自然を守り活かしながら地域を元気にする取組みとして、H25年度に関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会を設立をし、3つの専門部会のもと活動を進めている。

<課題>

コウノトリは、主に明治期の狩猟による乱獲によって、全国的にほとんど姿が見られなくなり、関東では明治20年頃にはすでに繁殖は途絶えていたとの説もある。また、明治期から現代に至る開発行為の進展は、コウノトリやトキの生息環境に少なからぬ影響をおよぼし、農薬等の化学物質による汚染もあり生息環境の減少・劣化が生じた。

このため、関東地域において多様な主体が協働・連携し、河川及び周辺地域における水辺環境の保全・再生方策を推進する必要がある。

あわせて、地域振興方策等に取り組むことにより、広域連携モデルとしてのエコロジカル・ネットワークを形成し推進させる必要がある。

<目標>

関東エコロジカル・ネットワークの到達目標として、2050年までにコウノトリやトキが絶滅の危機から脱し普通種になっているとともに、河川や農地等の水辺環境は改善とネットワーク化が進み、流域治水との調和の中で、多様で地域性に富んだ生物が豊かな魅力ある空間が形成を目指す。

また、自然空間を活かした賑わいのある地域づくりが進み、グリーンインフラにより関東地域の安全・安心が担保され、環境と経済と社会が調和した持続可能な社会が形成を目指す。

関東エコロジカル・ネットワークは、行政だけではなく多様な関係機関との協力のもと活動を実施しており、流域治水の取り組みが当たり前となり、多様な生態系ネットワーク形成されることを目指す。

取組内容・対策例(1/2)

関東エコロジカル・ネットワーク専門部会

【たね地づくり部会】

- 電力・通信会社による営巣・事故防止対策の勉強会
- 施設等連携による広報活動

【定着地づくり部会】

- コウノトリの生息環境創出・改善の検討・整理

【人・地域づくり部会】

- コウノトリ・トキと暮らす地域づくりを学習題材とした学習プログラムの検討等を実施
- 環境価値を重視したブランド農産物・商品の開発・生産・販売促進と地域還元方策の検討・実施



関東エコロジカル・ネットワーク専門部会

自治体の活動内容

- コウノトリ・トキの好む環境創出・保全をするための事業を実施
- コウノトリをシンボルとした観光プロモーションの実施



自治体の活動(小山市)

取組内容・対策例(2/2)

関東エコロジカル・ネットワーク 各エリア ブランド米の販売

- 安全・安心 商品であることを活かし開発・生産・販売の促進し地域還元となる取り組みを進める。

広報活動

- 関東エコ・ネットの取組みの普及・周知するため広報活動を実施



ジャパンバードフェスティバル2023



各エリア ブランド米



講習会

新たな取組み

- 環境教育について、水辺の生きものや、水辺での安全な活動に関する講習会の実施
 - ①水辺の安全利用及び水生生物調査に係る講習会
 - ②ナガエツルノゲイトウ(特定外来種)の駆除に係る講習会

モニタリング結果、アピールポイント、今後の対応方針

活動結果(アピールポイント)

- 渡良瀬遊水池での5年連続の巣立ちを確認
 - ①2020年6月
 - ・渡良瀬遊水池内でコウノトリのヒナが2羽誕生し、7月に巣立った
 - ※東日本では1800年代後半以来初
 - ②2021年:2羽
 - ③2022年:2羽
 - ④2023年:2羽
 - ⑤2024年:3羽

- 関東地域では令和6年度は、関東地方で19羽のヒナが巣立ちを確認
 - ※兵庫県立コウノトリの郷公園 HPより集計 https://satokouen.jp/downloads/0831_tp_hansyoku.pdf

コウノトリのヒナの様子
(提供:わたらせ未来基金)

コウノトリの舞う魅力的な地域づくりの実現を目指して地域と多様な主体が協働・連携している効果が確認

今後の取組み

【たね地づくり部会】

- 関東地域における救護・事故防止対策に係る関係機関との役割分担・連携体制の調整
- 電力・通信会社との連携体制(案)・関連情報の共有の推進
- コウノトリ・トキや流域治水等を含めた関東エコ・ネットの取組みの普及・周知を促進

【定着地づくり部会】

- 治水事業と一体的な湿地創出に関する検討・現地ワーキングの実施

【人・地域づくり部会】

- コウノトリやトキ等とくらす地域学習プログラムの検討・実施
- 環境価値を重視したブランド農産物・商品の開発・生産・販売促進と地域還元方策の検討・実施



備考